



# くすのき

2024.2  
第87号

題字 森下啓明  
愛知県立成章高等学校PTA発行

## 目次

- 卒業を祝して.....1
- 挑戦して成長へ.....1
- 親の気持ち.....2
- 3年生担任の先生方から卒業生に贈る言葉.....2・3
- 部活動報告.....2・3
- 令和5年度3学期部活動結果報告.....4
- 成章〇〇コラム.....4

### 卒業を祝して

PTA副会長 柴田裕樹



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが過ごした成章高校での3年間で、どんな思い出が残されたでしょう。中学校までの義務教育を終え、自ら選び進んだ高校で、初めて出会う友人や先生との時間や地域の方々と接する機会が、皆さんにどんな影響を与えてくれたでしょう。

瞬く間の高校3年間で終わってしまうことに寂しい気持ちでいる人も、これから始まる新しい生活に向け、溢れんばかりの希望と期待に胸がいっぱいの人もいることでしょう。皆さんはそれぞれ違った未来を選び、その進む先は高度な勉学に励む、専門的な知識を身につける、社会に出て仕事に励むなど様々です。

いままで毎日の様に学校で、教室で見ることができた友人の顔は、今後は当たり前に見ることができなくなるのでしょうか。その代わりに新しく始まる生活の中では、新たな人との出会いが待っています。それぞれの出会いが皆さんの貴重な財産になり、この先に待ち受ける様々な苦難の場面でも、出会った人達が皆さんのそばで励ましてくれることでしょう。

デンマークの童話作家であるアンデルセンは、「山から遠ざかればますます本当の姿を見ることができる。友人にしてもこれと同じである。」という言葉を残しています。これは友人だけに限らず、先生や家族、地域の方でも同じだと思います。高校生活で毎日の様に共に過ごしていた時には分からなかったことに、距離が遠くなることで改めて気付くことがあるでしょう。今、皆さんの周りにはいる人達は、この先どんなことがあってもいつでも頼れる存在です。高校生活の思い出と共に大切にしてください。皆さんの行く先に幸多からんことを願っています。

### 挑戦して成長へ

校長 青山昌俊



成章高校第76回生の皆さん、御卒業おめでとうございます。高校生活はどのようなものでしたか。苦しいこともたくさんあったでしょう。それらを乗り越えて卒業を迎えた皆さんに心から祝福の拍手を送ります。

2学期の終業式の式辞で紹介したミクロン株式会社の榊原憲二社長が大切にしている言葉を覚えていますか。「努力して後悔した人を見たことがない・・・(中略)・・・何もしないで変わった人はいない」というものでした。もう一つ、榊原社長が大切にしている言葉で紹介したいものがあります。

- 実力の差は努力の差
- 実績の差は責任感の差
- 人格の差は苦勞の差
- 判断力の差は覚悟の差
- 真剣だと知恵が出る
- 中途半端だと愚痴が出る
- いい加減だと言いつけばかり
- 本気でするから大抵のことはできる
- 本気でするから何でも面白い
- 本気でしているから誰かが助けてくれる

私は、厳しい言葉の中に優しさを感じます。新しい世界で戸惑うこともあると思います。全ての経験が皆さんを作り上げていきます。志を強く持って、挑戦し続けてください。「やればできる」です。これは、やれば成長できるという意味です。失敗も成長につながります。どうか、豊かな人生を歩んでください。

保護者の皆様、お子様の御卒業を心からお祝い申し上げます。これまで、本校の教育活動に御理解御協力いただき誠にありがとうございました。

## 親の気持ち

## 卒業を祝して

PTA副会長 近藤めぐみ



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆さま、お子さまが立派に成長され、この日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。そして、これまで子どもたちに関わってくださった全ての方に感謝すると共に、私自身も喜びをかみしめています。

保護者の皆さま、公園で遊ぶ子どもたちや、保育園・小学校に通う子どもたちを見ても思い出されるのは十数年前の我が子ではないでしょうか？背中より大きかったランドセル、補助輪のついた自転車、何を見ても鮮明にあの時の姿が浮かんできます。最近のことはすぐに忘れてしまうのに、不思議なものです。いつのまにか大きくなり、自分で身支度を整え、学校へ出かけるようになりました。子どもの成長を嬉しく思う気持ちと、手が離れていく寂しさに日々葛藤しています。この腕にすっぽりとおさまるほど小さかった子が、逞しく成長し、高校を卒業する年齢を迎えたことに、感動と共に月日の流れの速さへの驚きの気持ちが沸き、もう少しゆっくり、まだ近くにいてねと、心の声が漏れてしまい、反省することもしばしばです。最近はこちらが教えてもらうことも増え、頼もしさを感じていますが、新生活と共にまた成長する子どもたちの輝きに負けないように、もう少し背中を見せられる大人でありたいと思っています。

卒業生の皆さん、これから新たな道を歩み始める皆さんの背中を押すような洒落た一言を述べたいところですが、そういった知識や経験を持ち合わせていないので、一人の親としての気持ちを綴りました。これからも皆さんの周りに優しさと幸せが溢れますよう、心からお祈り申し上げます。

令和5年度愛知県高校生の写真展にて  
奨励賞受賞

写真部2年2組 坂本ひなた

この作品のコンセプトは「高校生の本音」です。私自身の悩みであり、高校生ならではの悩みとしても多いであろう勉強中の誘惑との戦いを表現しています。スマートフォンの光のみを明かりとして用いた周りの薄暗さから、高校生の勉強への不安や憂鬱さをこの作品を見た人たちに伝えられたらいいと思います。技術面では、夏に参加した写真部交流会で学んだことを上手く取り入れた作品に仕上げることができました。この受賞の結果、令和6年度「アートフェスタ-愛知県高等学校総合文化祭-」への出展が決まり、とても嬉しく思います。



「暗闇に隠して」

## 3年生担任の先生方から

## 今、ここから

3学年主任 大木 碧人

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、ここから自分の力で新しい道を切り開いていかなければなりません。様々な人と出会い、自分の価値を磨いてください。多くの人がこれから今までの狭い世界から、いろいろな活躍できる場所に飛び出していきます。今まで知らなかった世界に触れることで、新しい考えを吸収し成長していきます。自分を見失う事もあるかもしれませんが、変化を恐れず、日々前進して行きましょう。辛いことや嫌なこともあるでしょう。困ったら立ち止まればいいです。周りの仲間に頼ることも必要です。繋がりがって大切ですよ。人はマジになったその瞬間から変われると確信しています。人に求められ、必要とされる人間に皆さんであればならないはず。今、ここからです。変化を恐れず、一緒に頑張りましょう。成章高校での3年間で皆さんの成長の一つであれば幸いです。そして、皆さんと出会えた事に感謝しています。

## ウェルビーイング ～心理的な幸福や満足感～

1組担任 原井川 巧

誰もが求める「幸せな人生」とは、どのようにしたら得られるのだろうか。PERMA理論という考え方がある。ウェルビーイングを高めるための5つの要素は、ポジティブな感情・何かに没頭すること・人間関係・意義・達成感を指している。これらをわかりやすく言うと、健康・活力・職務満足・生活満足・責任感が関係してくる。つまり、幸せな人生とは「健康であり」「自分の仕事に満足し」「プライベートも充実し」「責任をもって何かに没頭できるような」過ごし方なのではないかと考えています。

さて、これからの君たちは、自分のルールは自分で敷かなければいけません。どこに繋がるようにルールを敷きますか？自分の敷いたルールの上だったら、努力を積むことができますか？そのルールの上を誰と歩みますか？教員として君たちへの最後の言葉は、堅苦しい説教よりもこういった考え方を話す方が、これから先を生きる君たちには必要かもしれませんね。

## MAKI'S キッチン

2組担任 河合 真貴子

共通テスト前日の朝、教室では既に進学先が決まっている生徒が自分たちで用意したお菓子を配りながら、「明日頑張る」と一人ひとりに声をかけて回り、前日欠席した生徒には「体調、大丈夫？」と気遣う様子も。本番を目前にして緊張気味だった皆の顔にも思わず笑みがこぼれ、その温かい雰囲気にはほっこりさせられました。本試験「リーディング」に、成章祭クラス企画名と同じ題名の物語文が出題されたと聞いて驚きました。高校卒業後20年ぶりに男女3人の友人が再会する場面からそれまでの人生を回想していく友情の物語です。Makiにgift(才能)を見出され、それぞれの道で成功を収めた二人がpayback(恩返し)をしようとMakiの店を訪ねて来ます。皆の20年後の物語はどんな感じになるのでしょうか。自分の能力を開花かせ、それぞれの分野で活躍していることを願います。そして皆の友情がこの先もずっと続きますように、また素晴らしい出会いがありますようにお祈りしています。

## 部活動報告

令和6年度愛知県総合文化祭アートフェスタ  
出品決定

美術部 2年5組 森下 あみ

1月に行われた高文連の東三河の展覧会で、代表作品に選考されました。制作する中で、自分の技量が足りず、思うように描けない部分も多く苦戦しましたが、先生からのアドバイスもあり納得のいく作品ができました。趣味で描いていた絵が、美術部に入ってからの今回の展覧会のようにたくさんの方に観ていただく機会ができ、なんだか不思議な気持ちです。また、絵を褒めて下さる方がいることは自信につながりました。美術部の大会は年に一度で私にとって最後のチャンスだったので、少しでも結果が残せて嬉しいです。今後誰かの心が動けるような絵が描けるよう努力していきたいです。



「宇宙旅行」油彩・F50号

## 捲土重来

男子バレー部顧問 太田 翔也

1月13, 14日に行われた令和5年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技東三河支部予選会に出場しました。この大会は東海大会までつながり、東三河地区からは上位3校が県大会に進むことができます。男子バレーボール部は長らく県大会出場を逃しており、その度に悔しい思いをしてきました。そのためこの大会では今まで以上に意気込んで臨みました。

初戦の相手は豊丘高校で、試合の流れを左右する1セット目は狙い通りの作戦から難なく勝ち取ることができました。しかし、2セット目は豊丘高校の粘り強い攻撃で惜しくもセットを落としました。後がない3セット目ではシーソーゲームを展開していましたが、相手の猛攻にも臆することなく守備を展開すると相手のミスも重なり、ついには勝利を手にすることができました。

勝利から流れをつかむと続く時習館高校戦や準決勝の桜丘高校戦ではストレートで勝利を収め、成章高校男子バレーボール部として約2年ぶりとなる県大会出場を決めました。

決勝では豊橋中央高校の完成度の高い攻撃と堅い守備の前にあえなく敗れましたが、東三河で準優勝という結果を収めることができました。

県大会では初戦で惜しくも敗れてしまいましたが、この大会で得られた自信を持って新たな課題を克服し、4月に行われる総合体育大会では東三河優勝を目指して取り組みたいと思います。



## 卒業生に贈る言葉

## 終わりのなき旅

3組担任 太田 翔也

「高ければ高い壁のほうが登った時気持ちいいもんな」この言葉はMr.Childrenの「終わりのなき旅」の1フレーズです。高校生活を過ごし数々の困難や壁にぶつかる中で、自力で乗り越えた者や手助けを借りてよじ登った者、諦めて背を向けた者もいることでしょう。しかし今後社会に出て学生のころとは比べ物にならない困難に遭遇することがあります。そんなときには先述した言葉を思い出してください。困難や壁を前に逃げ出すことは簡単にできますが、挑戦をすることはその時にしかできません。また困難が大きければ大きいほどそれを乗り越えたときの喜びや達成感はより大きくなります。そしてその経験があなたたちをさらに大きく成長させてくれるのです。

これから迎える卒業はゴールではなく通過点です。あなたたちは今、この先続く終わりのなき旅の途中です。そしてこれからの人生はこれからの行動によって大きく左右します。実りのある人生になることを願っています。

## 描くこと

4組担任 白井 美玲

卒業おめでとうございます。新しい生活のスタートです。さて私は絵を描いています。どうしたら上手く描けるのかと訊ねられることがあります。それはまず先入観を捨てて、対象をじっくりと見つめることです。形、構造、色、明るさ、鮮やかさ。そして描き始めてしばらくしたら、自分の描いたものを見つめ、修正していきます。修正は勇気のあることです。それを何度も繰り返していくのです。何枚も何枚も。そして最も重要なのは、日常生活での面白い、美しい、怖い、変だなと感じる感覚です。心が動き、悩んだり迷ったりしながら、少しずつ自分の目指す表現を求めます。細部を描いたら常に全体を見ます。うまくいかないと感じる部分があっても、作品全体としては良くなっていることもあります。そして自分の作品の良さに気付いていないことも。自分の感覚を大切に、何事もわかっているつもりにならず、物事の細部だけに捕らわれずに全体を見渡して、鮮やかに豊かな人生を描いていってください。

## 感謝の気持ちを忘れずに

5組担任 鶴 飼 祥子

成章高校を卒業するときがやってきましたね。卒業の日を迎えることができたのは、もちろんあなたが多くの努力を重ねたからです。そして、家族、友人、先生方始め、あなたと関わったすべての人の支えがあったからです。直接的な関わりはなくても、自分が気づいていないところで誰かに助けてもらっているかもしれません。人は必ず人に支えられているものです。

私もみなさんとの関わりの中で、教員としても、1人の人間としても、様々なことに感動し、そして学び、成長させてもらいました。とても感謝しています。ありがとうございます。

みなさんも卒業の日を迎えられることへの感謝の気持ちを、周りの方へ伝えてほしいと思います。そして、常日頃から「感謝」の気持ちを忘れず、温かい心と謙虚な姿勢をもって生活してください。感謝できる人はきっと周りからも感謝される人になるでしょう。みなさんのこれからの活躍を期待しています。ご卒業おめでとうございます。

## 令和5年度3学期部活動結果報告

部活動結果（12～1月）（太字は県大会以上）

## 女子ソフトテニス部

第17回愛知県公立高校ソフトテニスインドア大会（1/7）  
予選リーグ成章 3 - 0 常滑・半田農業連合  
1 - 2 刈谷

## 男子バレーボール部

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技  
東三河地区予選会（1/13.14）1回戦 成章 25 - 20 21 - 25 25 - 22 豊丘  
2回戦 成章 25 - 16 25 - 16 時習館  
準決勝 成章 27 - 25 25 - 20 桜丘  
決勝 成章 9 - 25 13 - 25 豊橋中央

東三河2位

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技  
県大会（2/3）

1回戦 成章 16 - 25 16 - 25 一宮興道

## 女子バレーボール部

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技  
東三河支部予選会（1月13日、14日）1回戦 成章 2 - 0 豊橋南  
2回戦 成章 2 - 1 時習館  
準決勝 成章 0 - 2 藤ノ花女子  
3位決定戦 成章 0 - 2 豊橋商業

成績 第4位

## 弓道部

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会弓道競技  
東三河予選 蒲郡市弓道場 1月27日（土）男子団体 第2位  
（疋田棧士、松井天佑、大場理功、原悠真、飯星光将）

【県大会出場】

男子個人 疋田棧士 8射8中 優勝 【県大会出場】  
大場理功 8射6中 第5位 【県大会出場】女子団体 第3位  
（山本真衣、宮川心優、金井萌乃果、木戸藍美、岡田乃々華）

【県大会出場】

## 陸上部

渥美半島駅伝競走大会 12/24

（男子 渥美運動公園～万場庭球場）

女子 赤羽根文化センター～万場庭球場）

男子 33位 2時間02分34秒  
（川原夢翔 鈴木皓登 渡邊颯 鈴木研登 太田尊）  
女子 10位 1時間25分21秒  
（堀蓮風 八子夏希 西尾帆乃花 前田真奈 高橋柚那）

## 写真部

○ 令和5年度愛知県高等学校文化連盟写真専門部愛知県  
「第38回高校生の写真展」

令和6年1月23日（火）～28日（日）

奨励賞

「暗闇に隠して」2年 坂本ひなた

令和6年度アートフェスタ

- 愛知県高等学校総合文化祭 - へ出展

## 吹奏楽部

12月24日（日）

2023年度愛知県アンサンブルコンテスト東三河地区大会  
高等学校の部（高等学校の部）

（豊川市文化会館）

木管三重奏（渡邊陽向、佐藤優衣汐、上田宏太郎） 金賞

## 美術部

○ 第38回高文連美術・工芸専門部『東三河』支部展出品  
（1月17日～1月21日）

2年5組 森下あみ

東三河代表作品に選考され、令和6年度愛知県総合文化  
祭・アートフェスタ出品決定成章〇〇  
コラム

## 「師第一如 あたのしかった 成章中学」

この記念碑を見たことがある人は、たぶん少ないと思います。この碑が建つ場所は、蔵王山の山頂、展望台の東側のチョット寂しい場所です。でも天気の良い日には、この碑の遠景に富士山が見えます。



今から41年前の1983年9月、かつて成章中学校で国語を担当していた石森延男先生を讃えるためにこの碑は建立されました。石森先生は1923年に東京高等師範学校を卒業後、最初の赴任地が成章中学校でした。その後、教科書や副読本を作られたり、児童文学作品を書かれたり、大学の先生を務められたりと活躍されました。

しかし、私たちにとって最も身近な、そして偉大な業績は「愛知県立成章高等学校 校歌」の作詞をされたことです。1952年に制定された校歌の歌詞には「成章」の文字が出てきません。「成章の文字がどこにも出てこないことがすばらしい」と賞されつつ、歌詞の内容から、ここに集った人にしてみると、最も成章らしい校歌であるとも言われます。

学校にとって、「師第一如」で楽しいことは理想です。そんな思いで、この碑を一度ご覧ください。